



# またかた 社協だより

よろこび多いまちづくり

vol.16

平成22年  
8月1日号



喜多方市児童館は、放課後児童が集い、同世代の子供たちとの遊びを通じ、自主性と社会性を育むところです。

6月7日、「中央児童館」と「しきみ児童館」では、館外活動の一環としてトロッコ電車に揺られながら塔のへつり（下郷町）へ行き、大自然の中で課外学習を楽しんできました。

## ● おもな内容 ●

- 会長あいさつ・役員評議員名簿 … 2
- ふれあいだより …………… 3
- 平成21年度事業報告 …………… 4
- 社協の掲示板 …………… 6
- ふれあいいいききサロン ……… 8



# ふれあいだより



## 喜多方地区 センターまつり

喜多方市高齢者生産活動センターでは、第26回センターまつりを6月6日(日)に開催しました。今年は開館30周年記念事業の一環としての開催で、天候にも恵まれ多くの市民の方々が来場されました。開会式では、「狼煙」を打ち上げ、アトラクションのフラダンスショーが披露され観客から拍手喝采で大好評でした。作品販売も好評で市民の方々とふれあうことが出来て、楽しいセンターまつりでした。



## デイサービスセンターお出かけ行事

6月24日(木)から30日(水)、デイサービス利用者の皆さんのお出かけ行事を実施しました。

今年は『イワナ養魚場』にお出かけしました。向かう車の中では楽しいおしゃべりをして、到着した養魚場では、水槽で泳いでいるイワナをその場で焼いてもらいごちそうになりました。

あーおいしかったあ。



おいしいね!



イワナ焼魚

あーおいしかった

## 塩川地区 塩川町身体障害者福祉協会歩行訓練・行動訓練実施



梅雨明けもまだ聞こえてこない7月10日(土)、新潟県にある「北方文化博物館」を見学してきました。

会員さんの中には美しい庭園に面した座敷で「一杯したら最高だろうなあ」との声も聞こえ、昔の面影そのままの広大な敷地にみなさん驚いた様子でした。

また、寺泊のアメ屋横丁で鮮魚の買い物をして楽しい一日を過ごしました。

## 七夕昼食会

住みなれた地域で安心して暮らしていただきたいと願い、民生委員の方々に声かけをお願いし普段一人ではなかなか外出できない一人暮らし高齢者の方々19名をお招きして、7月9日(金)赤十字奉仕団員の手づくり料理に舌鼓を打ちました。大正琴の雅な調べに酔い、ゲームに歓声を上げ楽しいひとときを過ごしました。



山都地区

## 高郷地区 炎天下の中、ナイスプレー

6月25日(金)、高郷地区老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会が開催されました。グラウンドゴルフは、老若男女問わず誰でも気軽に楽しめるスポーツです。経験豊富な方も「スティック持つのは年1回だけ」という方も一緒に良い汗をかき、親睦を深めることができました。

この日は、気温30度を超す真夏日。元気にプレーをする会員の皆さんとは対照的に、写真撮影だけで疲れ果ててしまった職員…。若い頃から働き、培ってきた体力と精神力の違いを痛感しました。



# 平成21年度喜多方市社会福祉協議会事業報告

## 法人の運営

- (1) 理事会の開催 (3回)
- (2) 評議員会の開催 (3回)
- (3) 監事会の開催 (2回)
- (4) 事務局長・支所長会議の開催 (週1回)
- (5) 事務事業推進会議 (月2回)
- (6) 介護保険事業所管理者会議 (月1回)
- (7) 会員制度の充実
  - 一般会員会費 (7,997,190円)
  - 賛助会員会費 (1,329,000円)

## 福祉のまちづくり事業

- (1) 支部社協活動支援 (7支部)
    - ふれあいネットワーク事業
    - ひとり暮らし高齢者等を対象とした生活支援活動や見守り活動を行いました。
    - ネットワーク数 (34件)
    - 延べ活動件数 (6,395件)
  - (2) ふれあい福祉協議会設立 (5地区)
  - (3) いきいきサロンの設置推進
    - 設置数 (11カ所)
    - 開催回数 (132回)
  - (4) 社協だよりの発行 (3回)
  - (5) ふれあい社会福祉講座 (3回)
  - (6) 家族介護者交流事業
    - 開催回数 (2回)
    - 参加者数 (61名)
  - (7) 地域福祉懇談会 (5回)
- ## ボランティア事業の推進
- (1) 声の広報発行事業 (9名)
  - 実利用者数 (108回)
  - 延べ発行数 (108回)
  - (2) 点訳ボランティアグループの育成

会員数 (6名)  
定例会 (12回)

- (3) ボランティア活動普及事業協力校の指定 (20校)
- (4) ボランティア活動の記録「ちいさなて」の発行
- (5) ボランティア養成等事業の実施
  - サマーショートボランティア (32名)
  - スクールの開催
  - スプリングショートボランティア (6名)
  - スクールの開催
- (6) 福祉体験事業 (60名)
- (7) 一人暮らし高齢者宅訪問・除雪ボランティア (82名)
- (8) 居住棟入居者ふれあいボランティア (28名)



喜多方市社会福祉大会のようす

共同募金・歳末たすけあい運動への協力  
共同募金運動実績

(9,141,997円)

(2) 歳末たすけあい運動実績

(5,582,000円)



保育所のデイサービス友愛訪問

## 地域福祉事業

- (1) 社会福祉法人福島いのちの電話喜多方支部への協力 (187名)
- 個人維持会員 (19団体)
- 団体維持会員
- (2) 日本赤十字社への協力 (3,941,000円)
- 社費 (3,598,625円)
- 社資
- (3) 日常生活自立支援事業
  - 契約件数 (2件)
- (4) 生活福祉資金貸付事業
  - 新規貸付件数 (7件)
  - 貸付件数 (44件)
- (5) 小口生活援助資金貸付事業 (93件)
- (6) 高額療養費貸付事業 (159日)
- (7) おもちゃ図書館事業 (5,864名)
- 開館日数 (371名)
- 利用人員 (371名)
- (8) 児童館運営事業
- 登録児童数

(9) 一人暮らし高齢者等支援事業

- 高齢者料理教室 (4回・57名)
- 閉じこもり予防事業 (3回・38名)
- 配食サービス (1回・47食)
- 高齢者交流事業 (1回・14名)
- (10) 市民参加講習会 (1回・35名)
- (11) 指定管理事業

- I 総合福祉センター管理運営
  - 高齢者福祉センター年間利用人員 (34,037名・317日)
  - 多目的ホール貸出回数 (377回・17,183名)
  - 会議室貸出回数 (305回・4,883名)
- II 保健福祉センター「夢の森」管理運営
  - 運動施設利用回数 (178回・2,636名)
- III 生活支援ハウス管理運営
  - 入居者数 (7名)
  - 年間活動人員 (8,082名・613日)
- IV 高齢者生産活動センター管理運営
  - (181日)

## 包括的支援事業の推進

地域包括支援センターの運営

- (1) 居宅介護支援事業 (4カ所)
- (2) ホームヘルプサービス事業 (3カ所)
- (3) デイサービス事業 (5カ所)
- (4) 訪問入浴介護事業 (1カ所)

## 障がい者自立支援事業

- (1) ホームヘルプサービス事業 (3カ所)
- (2) デイサービス事業 (3カ所)

# 平成 21 年度収支決算報告

## 平成21年度決算額

収入 676,372,853円  
支出 657,043,102円

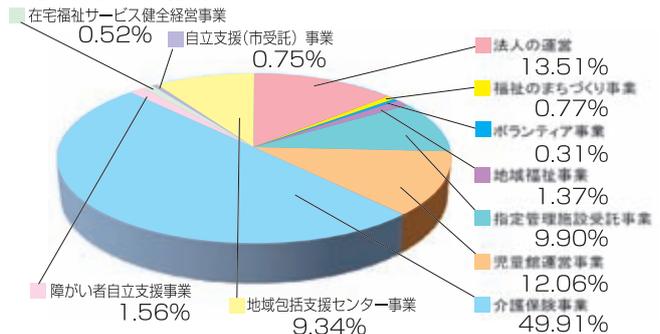
### 収入の部

勘定科目	金額(円)	割合(%)
会費収入	9,326,190	1.38
寄付金収入	11,026,473	1.63
経常経費補助金収入	65,844,000	9.74
助成金収入	300,000	0.04
受託金収入	213,802,632	31.61
負担金収入	676,500	0.10
共同募金配分金収入	10,295,261	1.52
介護保険収入	326,912,677	48.33
自立支援介護給付費利用料収入	9,674,818	1.43
利用料収入	613,429	0.09
雑収入	3,785,631	0.56
その他の収入	24,115,242	3.57
収入計	676,372,853	

### 支出の部

勘定科目	金額(円)	割合(%)
人件費支出	448,302,428	68.23
事務費支出	16,271,016	2.48
事業費支出	128,439,949	19.54
減価償却費	7,804,266	1.19
引当金繰入	30,748,120	4.68
その他の支出	25,477,323	3.88
支出計	657,043,102	

### 事業別支出内訳表



## 「児童館まつり」の開催

平成 22 年度「児童館まつり」を開催しますので、ご家族お誘い合わせのうえ、是非ご来場下さい。



- ☆ 日 時 9月19日(日)  
午前10時～午後2時50分  
(雨天決行)
- ☆ 場 所 喜多方プラザ
- ☆ 内 容  
○遊びのコーナー(無料)  
＜ジャンボゼンガ、風船プール、迷路他＞  
○模擬店コーナー(有料)  
＜焼きそば、かき氷、フランクフルト他＞
- ※ その他、バザーや子供たちによる「一輪車ショー」など、内容盛りだくさんでお待ちしております。
- ☆ 問い合わせ 喜多方市中央児童館  
☎0241-22-1766

## 家族介護者交流事業

在宅で介護されている方々の日頃の介護疲れの解消や、介護者同士の交流を目的として「家族介護者リフレッシュ事業」を実施します。

◆対象者 介護保険の要支援、要介護認定を受けている高齢者を在宅で常時介護している家族の方。なお、申込者多数の場合は、締切日前でも受付を締め切ります。

### ◆内 容

コ ー ス	日帰りリフレッシュ	一泊リフレッシュ
日 時	11月5日(金) 午前9時～午後4時	11月11日(木)午前11時～ 12日(金)午後3時30分
場 所 (お楽しみ ポイント)	磐梯熱海温泉「華の湯」 (温泉三昧、 おしゃべり三昧で リフレッシュ!!)	新潟県瀨波温泉「汐美荘」 (雄大な日本海を 目と味で楽しもう リフレッシュ!!)
募集人員	45名	45名
参加負担金	1,000円	3,500円
申込期間	8月2日(月)～10月29日(金)まで	

※上記のコースのうち、1家族につき1名どちらか1回参加できます。

◆問い合わせ 喜多方市社会福祉協議会  
☎0241-23-3231  
(社会福祉協議会各支所、地域包括支援センターでも受付しております)

# 社協の掲示板です!

協  
議  
会

- 本 所 TEL 0241-23-3231
- 熱塩加納支所 TEL 0241-36-3112
- 塩川支所 TEL 0241-27-3948
- 山都支所 TEL 0241-38-3100
- 高郷支所 TEL 0241-44-7111

## 高齢者生産活動センター 30周年記念式典

喜多方市高齢者生産活動センター開館30周年記念式典が6月20日(日)総合福祉センターにて盛大に開催されました。市長をはじめ多数の来賓をお招きし、150名の出席のもと、センター運営の功労者に対して市長より感謝状が、永年会員とグループ活動功労者には社協会長より表彰状がそれぞれ授与されました。

記念講演では、磐梯町出身の「三遊亭円福」師匠による『笑いと健康』と題した高座に、会場内の出席者からは爆笑の声が上がりました。

引き続き行われた祝賀会では、鏡開きの升酒で乾杯し、祝宴では会員のめでたい謡いが披露されました。市長を囲んだ記念撮影はグループごとに行われ、和やかな雰囲気の中、記念式典と祝賀会を終了することができました。



## 「街かど相談室」

介護の悩み、ストレス、  
一人暮らしへの不安など…。

お気軽にご相談ください。

日時：毎月第1・第3火曜日 13:30~14:30

場所：コープぶらざ店 喫茶コーナー

日時：毎月第2・第4火曜日 13:30~14:30

場所：ベスタひがし店 (旧 コープひがし店)  
喫茶コーナー

街かど相談室では、地域の身近な場所で介護の悩みやストレス、ひとり暮らしの不安など、さまざまな相談をおうかがいします。

地域の皆さまに気軽に立ち寄っていただくために、ベスタひがし店とコープぶらざ店の喫茶コーナーの一角をお借りして街かど相談室を開設しております。

どうぞお気軽にご相談ください。

◆問い合わせ：喜多方市地域包括支援センター  
☎0241-21-8856

## 赤十字救援車を配置しました

日本赤十字社福島県支部塩川分区では、災害時の対応をはじめとする赤十字活動の充実を図るため、日本赤十字社福島県支部の補助をうけ、新しい赤十字救援車を配置しました。

今後、赤十字の理念である人道・博愛の精神に基づく地域活動をより一層進めてまいります。







ふれあい

# いきいきサロン



シリーズ NO.2

## 「東四ッ谷いきいきサロン」

今年4月に開設した『東四ッ谷いきいきサロン』を紹介します。

地区の民生児童委員で、サロンの世話人代表の井上一雄さんにお話を聞きしました。

東四ッ谷地区では、数年前より高齢者の方々が集まる機会がなくなり、高齢者のいきいき作りのため、なにかよい方策はないかと考えていました。そんな時、市内に「ふれあい福祉協議会」が設立され、高齢者が活発に活動している社協松山支部の「ふれあいきいきサロン」事業の話を聞く機会がありました。

その後、町内会の集まりや地区の高齢者の方々にも声をかけ、今年中のサロン設立を目標として

3月に準備会を立ち上げ、行政区長や区役員の理解・協力、地区の皆さんの賛同を得て4月に開設することができました。

月1回の開催予定で、これまで健康講座や健康チェックを実施しました。今後は近くの公園の除草作業や健康体操など、楽しい企画を予定しており、参加された皆さんは、サロンの日を楽しみにしているとのこと。

代表の井上さんも「サロンができて大変良かった。サロンでの役割を担ったり、体を動かしたり、会話を楽しんだり、みんないきいきと参加されている。」と喜んでおられました。



## わたしの街の ボランティアさん

### 点訳ボランティア「eyeの会」

点訳ボランティア「eyeの会」は、平成9年10月に社会福祉協議会が視覚障がい者の方々の福祉向上のため、点訳ボランティアの養成を実施したのがきっかけで結成され、現在6名の会員で活動しています。

毎月1回、市の総合福祉センターで定期的に勉強会を開催しており、点筆やライトプレーヤーという特殊な器材を使用し、小説やパンフレットなどを点訳したり、点字についての「いろは」を学んでいます。また、県の点字図書館などへの視察研修なども行っています。

会長の矢部公子さんは「市内の視覚障がい者の方々に、できるだけ多くの本や広報誌などを点訳しお届けできるように、会員一丸となって取り組んでいます。」と話していらっしゃいました。「eyeの会」では、会員の募集をしています。点訳をやりたいという方や興味のある方は、お気軽にご連絡下さい。



小学生の点字勉強会の講師として



喜多方ラーメンマップを点訳し、喜多方老麺会へ寄贈

点訳をしてほしい本やパンフレットなどがありましたら、無料で点訳します！

※社会福祉協議会では、「eyeの会」の窓口となって活動を支援しています。詳しいお問い合わせは社会福祉協議会（23-3231）までお願いします。

※社協だよりの作成経費の一部として共同募金配分金及び会員会費を使用させていただいております。